

ジャパンカップ×HPCJC

スポーツニッポン杯争奪戦 おつけもの慶カップ

6/1 (水) 2 (木) 3 (金) F1 競輪 川崎 **川崎スポーツ**



レース展望

6月1日から開催される川崎競輪はジャパンカップ、スポーツニッポン杯として行われるF1戦。このシーズンはナイター開催が続くが、今シーズンは日中の開催となる。

シリーズの中心となるのは、ダービー王の脇本雄太（福井94期）。この脇本に藤田勝也（和歌山94期）や志智俊夫（岐阜70期）、場合によっては動ける吉田敏洋（愛知85期）らが付ける事となりそうだが、この位置を守り切れるかどうかが焦点となる。地元南関東は徹底先行の野口裕史（千葉111期）を目標にホームバンクの東龍之介（神奈川96期）や福

田知也（神奈川88期）が浮上することも。北日本は高橋晋也（福島115期）がだいぶ調子を戻してきており、大槻寛徳（宮城85期）や阿部力也（宮城100期）が好連係を決められれば、関東勢は黒沢征治（埼玉113期）の機動力に期待がかかる。黒沢の頑張り次第で同県の池田勇人（埼玉90期）や天田裕輝（群馬91期）らにもチャンスは出てくる。いずれにせよ、他地区が脇本に対して包囲網を敷けるか、脇本の番手に付ける選手が付け切れるかどうか、鍵となりそうなシリーズだ。

A級戦は各ラインに大きな差は無い。南関

地区は渡邊雅也（静岡117期）の機動力と、佐藤清之（千葉93期）のキメ脚が中心。関東勢は柿本大貴（東京113期）に、2班の中村隆生（栃木117期）や藤田周磨（埼玉117期）も優勝争いに加わるだけの力がある。北日本はカマシ、まくり強力な照井拓成（岩手115期）とS級でも活躍していた小酒大勇（福島103期）の2人が軸になる。遠征ラインはダッシュ良い古賀勝大（和歌山115期）がチャンスを作れば、富尾享平（大阪101期）の差し脚が生きてくる。

ダービー王脇本雄太の機動力断然

S級
主力選手



脇本雄太 福井 94期

先月のいわき平ダービーを制した脇本雄太が登場。昨年まではナショナルチームの一員として世界を転戦していたが、競技は引退。さっそく結果を出している。ダービーはただ優勝しただけではなく、一次予選は近畿ワンツー、2次予選、準決勝に関してはラインでワン、ツー、スリーを決める圧巻の内容で決勝に進出してチャンスをモノにした。一人でも多く近畿勢を勝ち上げさせて決勝で決める。まさに競輪の王道とも言うべきプロセスを経て最後は見事な勝ちっぷりだった。今後は競輪に集中して戦うことになるが、F1戦でその走りを見られるチャンスは少ない。本場に脚を運んで、世界レベルの走りを観戦して欲しい。

S級
主力選手



野口裕史 千葉 111期

今年で39歳を迎えた野口裕史だが、まだまだ徹底先行として力強い走りを見せている。ハンマー投げでトップクラスの活躍してきた野口だが、デビュー直後は自転車になかなか順応できずに苦労した面もあった。しかし、ブレのない走りや現在は上位陣も脅かす積極的なスタイルを確立。昨年はS級初Vに記念初Vも決めている。長い距離を苦にしない強力な脚に、多くの追込み陣に「抜きづらい」と言われている強靱な末脚を武器に今シリーズも南関の先導役としてフル稼働。今シリーズはナショナルチームに在籍経験があるメンバーが多く、洗練された走りにも魅力だが、がむしゃらな野口の走りにも注目したい。

S級
主力選手



高橋晋也 福島 115期

ようやく状態を上げてきた高橋晋也が登場。かつてはナショナルチームに在籍していたが、現在は競輪に専念。一昨年のウイナーズカップでG2初出場できいきなり優出、確定板に載り、昨年のヤングGPでは2着。随所で高い素質やスター性を感じさせる選手だ。一時は低迷して競走得点は102点台まで落としていたが、ようやく昇り調子に。もちろん5月の地元ダービーもモチベーションにはなっていただろうが、続く宇都宮記念は4日間バックを取り2勝を挙げた。競技でも鳴らしたダッシュ力やトップスピードの高さは折り紙付き。競輪に専念する事で、今後ますます期待が持てる。脇本雄太を苦しめる存在となりそうだ。

A級
注目選手

渡邊雅也 静岡 117期



タイトルホルダーの偉大な父晴智（静岡73期）を持つサラブレッドの渡邊雅也が着実に力を付けている。父譲りの抜群の瞬発力が武器だが、しっかり逃げに残れる力も付けてきている。本人は「先行だけにこだわるつもりはない」と言っていたが、間違いなく航続距離は伸びてきている印象だ。当地川崎はチャレンジから昇昇班を決めたバンクでもあり、昨年1、2班戦でも準優勝を果たしている。「川崎は走りやすいバンクですね」と言う通りしっかりと結果を出している。来期は初のS昇級。父の背中を追って更に上のステージでの活躍に期待したい若手。

A級
注目選手

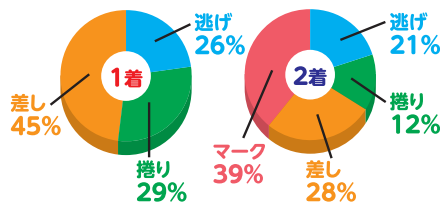
照井拓成 岩手 115期



抜群のダッシュ力を持つ照井拓成はようやく来期からS昇級が決まっている。持ち味を生かしたカマシやまくりで定評はあるものの、どうしても長い距離を踏んだ時には末を欠いてしまう。そんな理由もありデビューからしばらくは成績は安定しなかったが、ようやく長く踏める脚力が徐々に付いてきたことで、S級への切符を掴んだ。スプリント能力だけでなくS級でも十分通用するはずで来期の活躍が楽しみ。今シリーズは同期で早々とS級で活躍している高橋晋也や、ハイレベルな機動型が参戦するだけに刺激も十分に入るだろう。

川崎競輪場バンクガイド

直線が長く、最終4コーナーから直線にかけてイエローライン付近が強襲コースで外を踏める選手が穴を演出する。



俺にまかせろ! 川崎仮面の

開催中 毎日 OA!

YouTube

ニコニコ放送 NICO NICO LIVE



競輪は適度に楽しみましょう。車券の購入は20歳になってから。

【発行】川崎競輪 【監修】川崎サイクル